

是非みなさんにお読み頂きたい記事

田中RI会長年度最後の6月号となりました。大きな行事は、リスボンでの国際大会のみとなり、今月号はRI会長メッセージ以外指定記事もなく、身近な事象中心の肩の凝らない内容です。

このような機会に、多くの方々に目を通して頂きたいものです。

「未来のロータリーのために」 ヨコ組P17～20 規定審議会レポート

本年7月1日から施行される定款・細則について、規定審議会で決議された内容のうち、主だった改定内容が解説されています。我が地区でも、米田地区代表委員による説明が地区協議会で行われ、地区ホームページ・月信にも載っていますが、我々自身の規定改定であり再度熟読しその意義を理解することが肝要です。

「リスボンで“平和”を考えよう」 ヨコ組P1 RI会長メッセージ

田中会長の期末メッセージです。国際大会へのお誘いととも、ポルトガルとの長い交流の歴史に触れ、平和交流の大切さを説いています。そして最後に「世界のロータリアンが共に、今年度のテーマ“奉仕を通じて平和を”実現する取り組みを、私と一緒に続けていただけるよう願っています」と結んでいます。平和への強い思いが身に沁みる一文です。

読んで面白い記事

「国境なき平和を考える」 タテ組 P2～6 田岡俊次氏講演録

テレビで時々、田岡先生のお顔を拝見します。軍事評論家として、軍備戦略の解説などをうかがうので、概ねタカ派と誤解していました。しかし、今回は田中会長のメッセージを読んで、平和への道筋を考えたと述べられています。

「領土は国益の最たるもので、寸土も譲らず」と考える迷妄を解き、「急速にボーダレス化が進んで国境の意味は薄れつつあるのだから、その方向に努力すれば長期的には成果が上がる筈」と思いついたと書かれています。その実証内容は、ぜひ一読すべきと思います。

「ロータリー親睦活動」ヨコ組 P5～10

ロータリーには、64の親睦活動グループがあるようです。サイクリング、コンピューターユーザー、切手収集、囲碁等の事例が紹介されています。

その趣味の広さ、深さも抜群ですが、世話役をなさっておられる方々の行動力、行動範囲にも脱帽です。ロータリーワールドには、このようなエンジョイの場もあることを認識しました。

感銘を受けた記事

「ニューヨークからの支援」 ヨコ組P22～23

アメリカ・ニュージャージー・イングルウッドRCの唯一の日本人会員：柳澤育代会長エレクトの活動物語です。東日本大震災ニュースを聞いて、まず自クラブ支援体制を整えお父上の奈良RCを通じてネットワークを作り、献金を被災地に届けることから始めたようです。それが、第7490地区全体の支援活動に発展し、マッチンググラント事業も的確に進められたようです。その上11年前のワールドトレードセンター・テロ事件被災者の会：911家族会からの支援申し出に橋渡し役を引き受け、遂に日本に15人の使節団を派遣し被災地をくまなく訪問、幅広い交流を繰り広げられました。

この間の緻密な連絡折衝は、大変で並大抵な仕事でなかったものと推察し、深く敬意を表します。

「情報発信」された方々

「ヨコ組」

地域社会とともに P15

「地域に発信するみんなのプロジェクト——在宅医療の講演会」 堺フェニックスRC 松田 香純

「タテ組」

卓話の泉 P10

「花押とは」 高野山RC 恵光院住職 近藤 大玄

柳 壇 P12～13

「女房のレシピ横目にフライパン」 田辺RC 東 冬彦

「定番の朝を迎える老い二人」 大阪金剛RC 井出 胡蝶

ロータリーアットワーク

「公開講座 認知症を支える社会を目指して」 P24 堺RC

「被災からの学びを後世に」 P30 粉河RC